

●「災害時障がい者用支援バンドナ」
「災害時コミュニケーション支援
ボード」の配布、設置
▼318万4千円

□子どもの医療費を助成

乳幼児・小中高生、ひとり親家庭
などの児童を対象に医療費の自己負
担分を助成します。

8月から拡充：中学生の所得制限
額を小学生と同額に引き上げ、新た
に高校生も対象となります。

▼8億6千90万3千円

●出産・子育て応援給付金

令和4年4月以降に妊娠・出産し
たかたに、合計10万円(妊娠届出時
5万円、出産後5万円)を支給しま
す。▼3億9千186万1千円

●あきた出産おめでとう給付金

(補正予算)

令和4年4月以降に出産したかた
に、子ども1人あたり2万円を支給
します(右記の応援給付金に乗せ
て支給)。▼6千600万円

…関連記事を17ページに掲載

□不妊治療費を助成

不妊治療を行った夫婦に対し、治
療費の一部を助成するほか、不育症
検査費用の一部を助成します。

▼6千203万円

●子ども食堂を支援

「子ども食堂」を新規に開設する団
体などに、食堂の実施に要する経費
を補助します。▼90万円

●町内会ポータルサイトを構築

町内会活動の活性化を図るため、
主に町内会向け情報を収集できる
ポータルサイトを作成するなど、町
内会活動のデジタル化を支援しま
す。▼417万9千円

□奨学金の返還を助成

保育士・保育教諭を対象として、
市内認可保育所などに就職すること
などを要件に奨学金の返還を助成し
ます。▼1千735万8千円

5 人と文化を はぐくむ 誇れるまち



歴史や文化をいかした魅力あるま
ちづくりを進めるとともに、生涯に
わたり学習・文化・スポーツ活動に取
り組める環境の中で、誰もが目標に
向かって成長し、希望に満ちた生活
を送ることができ「人と文化をは
ぐくむ誇れるまち」をめざします。

□佐竹史料館の改築

「佐竹史料館改築基本計画」に基づ
き、令和7年3月の開館をめざし、

現在地において建築工事などを行
います。▼7億4千575万5千円

●旧松倉家住宅の活用

県指定有形文化財旧松倉家住宅に
ついて指定管理者により管理運営を
行い、歴史・文化を生かしたまちづ
くりを推進する事業の企画・運営、
文化財の公開と貸し館業務などを
行います。▼2千504万7千円



●「23歳のつどい(仮称)」を開催

新型コロナウイルス感染症の感染
拡大により中止した令和2年度式
典の代替となる記
念行事を開催しま
す。▼289万1千円



□千秋美術館の施設整備

建築から30年以上経過した秋田総
合生活文化会館・美術館(アトリオン)
を長期的に管理・保全するため、劣
化対策を行います。また、老朽化し
た展示設備を更新し、より多彩な展

示が可能で、魅力的な鑑賞空間とす
るため、専用部の改修工事を行いま
す。▼6億9千246万4千円

●あきた芸術劇場ミルハス
1周年記念事業を開催

大ホールを会場に、藝大フィル
ハーモニア管弦楽団のコンサートを
開催します。▼259万5千円



□日新小学校の増改築

日新小学校の校舎棟・屋内運動場
棟などを建設します。▼23億706万円

計画実施にあたっての新規事業

●動画自動作成システムを導入

市民への情報発信および庁内の動
画研修体制を整備するため、簡易な
手法で動画作成が可能となるシステ
ムを導入します。▼137万5千円



太平中メモリアルバンドの記念演奏もありました♪



太平山谷番楽



校旗が秋田市に返納されました



3月11日、3月で閉校を迎えた太平中学校の閉校記念式典が、同校体育館で行われました。式典のオープニングでは、生徒などによる「太平山谷番楽」の披露や中学校の歴史をまとめたビデオが上映され、あいつに立った畠山宏良校長は「本校教育の源は、いつも我が子のように生徒に接し見守ってくださる地域の優しさとおたたかき、そして太平の雄大な自然です」と、地域への感謝の言葉とともに「ふるさとを愛し、母校を誇りに持ち、太平っ子の魂と気概を胸に秘め、皆さんの仲間と共に未来を切り開いていく人となつてほしい」と、最後の卒業式で生徒たちに送った言葉を披露してくれました。

秋田市への校旗返納後、式典の第二部では、生徒発表やメモリアルバンドによる演奏が行われ、76年という長い歴史に幕を下ろしました。

同校は4月から城東中学校と統合し、新たな一歩を踏み出します。

正門そばに建てられた記念碑



秋田市へ新たな誘致企業が決定！

2月21日、シー・スリー・アイ株式会社と県・市が立地協定を締結しました。

同社は自治体向けDX推進事業全体をサポートしているほか、ドローンによる空撮業務や動画編集などさまざまなサービスを行っており、将来的には約30人の雇用を見込んでいます。

お問い合わせ
企業立地雇用課
☎(088)5733

*DX:さまざまなデジタル技術を使って、企業戦略や業務の流れを変革させること。



シー・スリー・アイ(株)の宮澤正恭代表取締役(中央)と穂積市長、佐竹知事

大森山動物園に寄付ありがとうございます

開園50周年を記念して、ホームテック株式会社から、耐用年数が近くなっているカピバラの湯つこの給湯器と、その燃料費の一部にあててほしいと、灯油を寄付していただきました(給湯器と灯油合わせて50万円相当)。早速新しい給湯器で沸かしたお風呂に入ったカピバラたちは満足げな表情でした。

お問い合わせ
大森山動物園
☎(828)5508



2月20日の贈呈式で、ホームテック(株)の進藤史明代表取締役(右)と小松園長